

第3 学年 技術・家庭（家庭分野）

1. 学習のねらい

学習のねらい	○家族の住空間について考え，住居の基本的な機能について知る。 ○家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り，快適な住まい方を工夫できる。 ○消費生活に関心をもち，消費者の基本的な権利と責任について理解する。 ○販売方法の特徴について知り，生活に必要な物資，サービスの適切な選択，購入及び活用ができる。 ○消費生活が環境に与える影響について考え，環境に配慮した消費生活について工夫し実践する。
使用教材	教科書：技術・家庭 家庭分野（開隆堂）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	○衣食住や家族の生活などについて関心を持ち，これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。	○学習活動への参加の仕方や態度 ○提出物（プリントやノート）の内容 ○提出物（プリントやノート）への取り組みの様子
②生活を工夫し創造する能力	○衣食住や家族の生活などについて見直し，課題を見つけ，その解決を目指して家庭生活をよりよくするために，工夫し創造している。	○製作物 ○提出物（プリントやノート）の内容 ○定期テスト
③生活の技能	○生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	○製作物 ○提出物（プリントやノート）の内容 ○定期テスト
④生活や技術についての知識・理解	○家庭の基本的な機能について理解し，生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	○定期テスト

3. 学習計画

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
3 年 1 学 期	住まいのはたらき ①住まいのさまざまな役割 ②共に住もう	○自分や家族の住空間と生活行為とのかかわりについて関心をもって学習活動に取り組んでいる。【関】 ○住居に基本的な機能について理解している。【知】
	安全な住まい ①住まいの安全対策 ②災害への備え	○安全で快適な室内環境に関心をもち，整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている【関】。
3 年 2 学 期	快適な住まい ①室内の空気調節 ②住まいと音 家庭生活と消費	○室内環境について課題を見つけ，調査・観察・実験などを通して，安全で快適など整え方や住まい方について考え，工夫している。【工】 ○安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。（・家庭内事故の防止や自然災害への備え ・室内の空気調節 ・音と生活とのかかわり）【知】 ○自分や家族の消費生活について関心をもち，消費のあり方を改善しようとしている。【関】
	調理をしよう ・地域の食文化について	○地域の食材を生かすなどの調理を通して，地域の食文化について理解すること。【関】 ○食生活に関心をもち，課題をもって日常食又は地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し，計画を立てて実践できること。【関】

3 年 3 学 期	よりよい消費生活のために ①消費生活のトラブルを防ごう ②消費者の権利と責任 ③消費者を支えるしくみ	○収集・整理した情報を活用して、物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。【工】
	環境に配慮した生活 ①環境への影響を考える ②エネルギー消費と CO2 排出を減らす ③水を節約し、排水の汚れを減らす ④環境への影響を考えた消費生活 ⑤持続可能な社会へ向けて	○自分や家族の消費生活が環境に与える影響について関心をもち、エネルギー消費や節水対策を実践しようとしている。【関】 ○自分や家族の消費生活を点検し、エネルギー消費や節水対策を実生活で生かせるよう工夫している。【工】 ○自分や家族の消費生活が環境に与える影響について理解している。【知】 ○環境に配慮した消費生活に関する知識を身につけている。【知】

4. 学習方法についてのアドバイス

学 校	○教科書，ノート，のりはいつも用意しよう。授業プリントは配られたらすぐにノートに貼ろう。 ○授業の始まる前に自分の席に着席し，授業の準備をしておこう。 ○実習では先生が指示を始めたら作業をやめて聞くことに集中しよう。 ○ノート，プリント等の提出物は期限を守って提出しよう。
家 庭	○授業中に学習したことで家でもできそうなことがあれば，積極的にやってみよう。 ○教科書やノートを見て興味を持ったことは，自分でさらに追求してみよう。